

船舶事故調査報告書

平成26年6月5日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵男（部会長）
 委員 庄司 邦昭
 委員 根本 美奈

| | |
|--|--|
| 事故種類 | 乗揚 |
| 発生日時 | 平成25年12月10日 02時00分ごろ |
| 発生場所 | 長崎県五島市女島東岸付近 女島灯台から真方位067° 400m付近 （概位 北緯31° 59.6′ 東経128° 21.2′） |
| 事故調査の経過 | 平成26年2月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 | 漁船 36 <small>かいこう</small> 開考丸、11トン NS2-13830（漁船登録番号）、個人所有 14.98m (Lr) × 3.45m × 1.24m、FRP ディーゼル機関、404.53kW、平成元年10月10日 第292-46178号（船舶検査済票の番号） |
| 乗組員等に関する情報 | 船長 男性 58歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年3月28日 免許証交付日 平成21年3月13日 （平成26年10月11日まで有効） |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | プロペラシャフトブラケットが脱落、プロペラ、プロペラシャフト及び舵板が曲損 |
| 事故の経過 | 本船は、船長及び甲板員が2人で乗り組み、平成25年12月9日15時00分ごろ、女島東岸から約100～130m沖において、天候の悪化に備え、錨泊した。 船長は、北西の風が約25～30ノットに達したため、日没後もほぼ1時間おきに錨泊の状態などを確認しており、10日02時00分ごろ、本船がローリングするので、走錨していることに気付いたが、機関を始動する間もなく、衝撃音がして海岸付近の岩場に本船が乗り揚げた。 船長は、機関を始動し、錨索を切断したところ、船首が海岸（西方）を向いたので、機関を後進として離礁した後、予備の錨で付近に錨泊した。 |

| | |
|--------|--|
| | <p>船長は、夜が明けてから、切断した錨索を探して錨を上げ、改めて錨泊し直した。</p> <p>船長は、出漁していなかった親族に電話を掛け、天候が回復次第、えい航救助に来るよう、依頼し、約5日間待った後、本船は、来援した親族の船に五島市水ノ浦漁港へえい航された。</p> |
| 気象・海象 | <p>気象：天気 曇り、風向 北西、風速 約14～16m/s</p> <p>海象：波高 約1.0～1.5m</p> <p>福岡管区気象台からの地方海上予報の発表状況</p> <p>長崎西海上 8日17時40分発表 海上風警報</p> <p>9日11時40分発表 海上強風警報</p> |
| その他の事項 | <p>船長は、出港してから4日目に本事故が発生するまで、1日に3回、漁業無線で気象情報を入手しており、また、ふだん、詳細な情報が必要なときは、直接、気象台に船舶電話を掛けて確認していた。</p> <p>船長及び甲板員は、海上強風警報が発表されていることを知り、五島市大浜漁港に帰るか、女島付近で避泊するかを話し合い、風向の変化に合わせて女島東岸沖に錨泊場所を変えた。</p> <p>船長は、予備の錨で錨泊後、船尾両舷のたつにロープを張ってチェーンブロックを掛け、プロペラシャフトを吊るようにして応急処置をした。</p> <p>船長は、男女群島付近で40年近く操業をしており、同群島については熟知していた。</p> <p>錨泊した場所の水深は、約30mであり、錨索の長さは約100m、直径は約4.5cm、錨の重さは約100kg、予備の錨の重さは約60kgであった。</p> <p>船長は、本事故時、レーダー及びGPSプロッターを作動させていなかった。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.5m、船尾約1.5mであった。</p> <p>本事故発生場所付近の底質は、砂及び岩である。</p> <p>本事故当時には、ふだん、余り見掛けない巻き網漁船約26隻が付近に避泊していた。</p> |
| 分析 | <p>乗組員等の関与 あり</p> <p>船体・機関等の関与 なし</p> <p>気象・海象の関与 あり</p> <p>判明した事項の解析</p> <p>本船は、海上強風警報が発表されていた状況下、女島東岸沖で錨泊中、風により、走錨したことから、女島東岸付近の岩場に乗り揚げたものと考えられる。</p> |
| 原因 | <p>本事故は、夜間、本船が、女島東岸沖で錨泊中、風により、走錨したため、女島東岸付近の岩場に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 参考 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・海上警報の内容によっては、あらかじめ予備の錨も使用して天候の悪化に備えること。 |
|-----------|--|